

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成25年度第13回（定例会）

署名人 喜久里美也子

委員長 城間勝

開催日時 平成25年10月9日（水）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時30分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席委員 城間勝委員長、添石幸伸委員、喜久里美也子委員、饒波正博委員、城間幹子教育長

議 事 日 程

（1～2は非公開）

- 1（当日追加） 報 告 市長の専決処分（学校内における転倒事故）の議会報告について
(学校教育課)
- 2 報 告 平成25年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）の確定について（総務課）
- 3 陳情第1号 うちなーぐち教育を含む那覇市独自の地域総合学習の開発とその実施・普及のための調査検討委員会の設置について（継続審議）
- 4 議案25号 那覇市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について（総務課）
- 5 報 告 那覇市議会9月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について
(総務課)

出席職員

【生涯学習部】佐久川馨部長

（総務課）伊良皆宜俣課長、仲程直毅副参事、山内健副参事、上原善英主幹、當間千明主査

【学校教育部】喜瀬乗英部長

（学校教育課）知念潤主事

会議録作成（総務課）赤嶺明日香主査

城間委員長　ただいまから平成25年度第13回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日の会議録署名は喜久里委員にお願いいたします。会議の進め方について提案をいたします。1番目の報告「市長の専決処分（学校内における転倒事故）の議会報告について」は、個人に関する情報が含まれるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」を適用し、非公開とすることが適当であると思われます。その可否について、委員の議決を図りたいと思います。報告「市長の専決処分（学校内における転倒事故）の議会報告について」は、非公開としてよろしいでしょうか。

全　　員　　異議なし

城間委員長　全会一致です。非公開といたします。2番目の報告「平成25年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）の確定について」ですが、予算編成過程、予算要求の数値があるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」を適用し、非公開とすることが適当であると思われます。その可否について、委員の議決を図りたいと思います。報告「平成25年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）の確定について」も、非公開としてよろしいでしょうか。

全　　員　　異議なし

城間委員長　全会一致です。1番目、2番目の報告とも非公開といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

～ 非公開 ～

城間委員長　非公開を解きます。次、第11回目の定例会で審議されました陳情第1号「うちなーぐち教育を含む那覇市独自の地域総合学習の開発とその実施・普及のための調査検討委員会の設置について」は、継続審議になっております。今日は、その資料も持参していただいたと思いますが、そのことについて引き続き審議を行いたいと思います。

饒波委員　正式な会議では1回審議されて、あと勉強会等もされたと思いますが、繰り返しになるかもしれませんが、私、この案件に関しては、二つに分けて考えた方がいいと思います。例えば、うちなーぐちを授業化するということと、あとそのための委員会の二つに分けて考えて、私の意見は前回お話ししましたが、授業化に関しては、慎重にした方がいいのではないか、簡単に言えば反対ということで、委員会設置については賛成というような感じで、陳情に対して自分の中で微妙な結論があるのですが、ただ、その後いろいろご指摘受けまして、陳情のこの内容を見ますと、委員会がどういうものかということで、陳情の1ページ目に出ておりますとおり、請願の趣旨、カリキュラムの開発とその地域のための仕組みづくりに関してという、そのための委員会ということになっておりますので、そうするといまご指摘を受けたのが、要するに授業化ありきの委員会になってしまうのではないかということに

なれば、ちょっと委員会設置に関しても非常に微妙な感じになってきます。委員会がそのうちなぐちを授業化することのための委員会ではなくて、その意味とか、その背景を考えると、そういうもっと広い意味での委員会であれば、私は委員会設置については賛成ですけれども、その授業化ありきのための委員会であれば、少し躊躇せざるを得ないなというふうに考えております。以上です。

城間委員長 貴重なご意見有難うございました。単純に授業化を目的とした委員会については賛成しかねるけれども、広い意味での普及について、どういう普及の仕方があるか、そのための委員会であれば賛成したいということによろしいですか。

饒波委員 陳情者の意見は、おそらくカリキュラム作りのための委員会というものを望んでいる。

城間委員長 他にご意見、十分お考えになったと思いますが。

喜久里委員 私もしまくとぅばの普及というのは、同じ目的を持っているということでかなり考えましたが、現在では子どもも大人世代もしまくとぅばが話せないというのが現状ということで、みんなで、共通意識でしまくとぅばを普及していこうという大きなテーマの中で陳情者のご意見はやはり普及という目的は一致しているのですが、学校教育の中のカリキュラムを開発するという意味では、現在せつかく那覇市も一括交付金を利用した小冊子も作成してできたばかりです。それで子どもたちに、いまは興味や関心を持っていただいて、日常生活で挨拶などを取り込もうというところにきていますので、まずはそこから始めていってもいいのかなと思います。カリキュラムの開発に関しては、まずそれを踏まえて、それからいろんな課題がでてきたら、その次ということで、まだ時期尚早ではないかと思い、陳情者がおっしゃっている陳情に関しては、「趣旨採択」がいいのではないかと思います。

城間委員長 喜久里委員の方から具体的な採択についての提案、ご意見がありました。他に。

添石委員 私も饒波委員と喜久里委員のおっしゃっていることと概ね考え方は一緒です。その設置をしていく、普及を進めていこうというその趣旨には賛同しますけれども、その委員会の設置等に関しては、再度検討していただいて、また手法を考えた上で、もう一度提案をしていただくということを前提に、「趣旨採択」という方向でぜひ進めていったらどうかという意見です。

城間委員長 添石委員の方からも具体的な採択の方法、「趣旨採択」という言葉が出てきました。他によろしいでしょうか。共通しているのは、趣旨は妥当だと認められると、ただカリキュラムのことに関する委員会については、時期尚早。県もこの10年間で共通語なみに喋れる県民は88%以上の取り組みを行うということでしたけれども、おそらくいろいろな取り組みの中で、カリキュラムに触れる部分がもしかしたらあとで出てくるかもしれませんので、私もその時点でカリキュラムについては検討してもいいのではないのか。現時点では、那覇市が進めているように、学校のいろん

な場所で、時間で、あるいは地域の方々を活用しての日常生活の中での普及の仕方等々という意味では、「趣旨採択」でもいいのかと思ったりもしています。

饒波委員 例えば、雑談のレベルでいろんなアイディアが出ましたけれども、劇で方言劇をやってみるとか、そういうのを先導するというような、奨励するとか。陳情を全くの拒否でないというのを何らかの形で見えるようにしておくのも必要かと思います。那覇市はしまくとうばをやっていこうと進めているわけですから、我々の趣旨は、同意しているわけですから、形でわかるような結論にしてほしいと思いますけど。私も「趣旨採択」に賛成です。

城間委員長 教育長、事務局として、普及のための具体的な取り組みを考えるというのがありましたら教えて下さい。

城間教育長 いま現在、具体的なことは私の耳にも届いておりませんが、先程申し上げましたように読本を使ってこのようにやって下さいという呼びかけであったり、あるいは現場でどうされている、ということの状況確認であるとか。今日、運動会の練習でしようか、開南小学校の全校朝会でうちなーぐちバージョンのラジオ体操やっていますし、方言に関する各学校現場での導入、その現状を把握して、その次にどのようなことができるかというのを、おそらく担当者レベルではアイディアが出ていると思います。具体的に部長の耳には何か入ってきていますか。

喜瀬部長 まだ形としては具体的なものは出ておりません。アイディアとしては方言大会とか、そういうのをもっと拡大していったらというのはあります。それと学校の方には是非地域人材の活用という部分、これは推進してもらおうと。子どもたちの周りには、やはり那覇くとうばだけではなくて、いろんな講師の方がいます。そういう意味でも子どもたちに冊子を通して校内での報告会、またあるいは総合的な学習の時間の中で、おじいちゃん、おばあちゃんを活用した部分というのは存在するのではないかと。そういうことはこれまで以上に進めてほしいということで常にやっておりますが、イベント的な部分については具体化されていないです。

城間委員長 まずは、どういう活用の仕方をしているかということを実際把握すると。それから朝のあいさつ運動を「ハイサイ、ハイタイ」でやるとか。うちの孫も、家に帰ってきて、「夕食クワッチーサビタン」というので、「どうして知っているのあなたが」と聞くと、保育所でこういうのをやっている。こういう日常的な簡単なものとか、週1ぐらい給食時間、地域の方を招いて、しまくとうばでちょっとした物語をやってもらおうとか、いろんな事例を事務局で準備してあげて、こういうのもありますよという提案ができれば、先程の饒波委員の指摘には十分対応できるのではないかと。だから当面はその動きを見ていくと、それで「趣旨採択」するということで説明がつくのではないかと、陳情者にもある意味で納得させられることではないかなと思います。

喜瀬部長　これは改めて学校教育課の中で、アイディア集めて学校に提供できる形を整えたいと思います。

城間委員長　是非お願いします。それでは、陳情第1号「うちな一ぐち教育を含む那覇市独自の地域総合学習の開発とその実施・普及のための調査検討委員会の設置について」は、3名の「趣旨採択」という声が出ていますけれども、それでまとめてよろしいでしょうか。

全　　員　異議なし

城間委員長　全会一致です。陳情第1号につきましては、「趣旨採択」ということに決定いたします。次に移ります。議案第25号「那覇市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」説明をお願いします。

佐久川部長　提案理由説明

伊良皆課長　資料説明

仲程副参事　資料説明

城間委員長　来年の4月1日に那覇市立那覇小学校を開校するけれども、その前にいろんな準備が必要だから、11月1日からスタートさせますという意味と理解しておりますが。ご質問、補足。

仲程副参事　学校の設置年月日が平成25年11月1日になります。

城間委員長　4月1日、開校。

仲程副参事　11月1日設置で、開校は4月になるということです。

城間委員長　設置は11月1日。

伊良皆課長　11月1日施行されますと、現在、小学校は37校ですが、11月1日は38校存在するとなります。

喜久里委員　廃止をしないまま設置になるから38校になると。

仲程副参事　そういうことです。

喜久里委員　廃止しなくても大丈夫なんでしょうか。

城間教育長　学校そのものは運営されているから、準備室というところですので。

喜久里委員　幻のですね。

仲程副参事　ある意味、半年間は幻の学校です。

城間教育長　那覇市内で初めての経験です。天久小学校はないところからの新設でしたので。今回の場合は統廃合、新校です。初めての経験です。

城間委員長　ちなみに、那覇小学校・幼稚園の校長、教頭いつ頃わかるのでしょうか。

城間教育長　先日、事務所からその流れとか、タイムスケジュールが来まして、10日に名前が挙がって、県教育委員会で決定をされてから、向こうから来て、こちらからまたあげて、行ったり来たりが始まります。もう中旬あたりには聞こえてくるかと。

城間委員長　何かご質問ありませんか。なければ私から。準備室は、どこに置くのですか。

伊良皆課長 この新校の準備室でございますけれども、総務課内に、現在、生涯学習部長が座っている位置の近辺へ会議室を含めてですが、スペースを設けて準備室を置くと予定しております。いわゆる教育長室のすぐ隣の方になります。

城間委員長 この会議室なんかいいと思いますが、ここはダメなんですか。

伊良皆課長 こちらは全庁的な会議室ということになっております。

仲程副参事 その広さですが、狭いというイメージがありますが前回の天久小学校の開校準備室に比べるとだいぶ広がっています。

城間委員長 よろしいでしょうか。それでは、議案第25号「那覇市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」提案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

城間委員長 全会一致です。決定ですので可決されました。それでは、最後の議案、報告「那覇市議会9月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」説明をお願いします。

佐久川部長 報告理由説明

伊良皆課長 資料説明

城間委員長 39の質問の中から、主なところを拾い上げて説明していただきました。他の項目や、議会の様子を聞きたいということがありましたら、質問をどうぞ。先程の議決議案の中身についてもどうぞ。よろしいでしょうか。確認ございませんか。

喜久里委員 先程の議決議案の116号の見方ですけど、契約の相手方の代表者と構成員というのがありますが、この見方を教えていただきたい。

佐久川部長 工事請負契約に関しましては、2者で共同企業体を作って提案する場合がございます。今回も2者で共同企業体を作って、その代表者が高橋土建、それに構成員として有限会社スタプランニングが関わっている。2者で連合体を作っております。

喜久里委員 わかりました。

城間委員長 他に。

饒波委員 学力のことでわからないことがあったので、学力を上げるための方策として、文科省から調査官というのを依頼して招聘するという話がありましたけれども、これは具体的にどうなんでしょうか。

喜瀬部長 那覇市に例えると、わかりやすいと思うのですが、市の指導主事という立場の職と同様に文部科学省には調査官とか視学官という皆さんがおります。これは各都道府県で指導主事等として頑張ってきた方々、特にそういう力がある方を視学官とか調査官という形で国の方で教育施策に携わっている皆さんです。そういう方に来ていただいて講話などをお願いする場と考えてもらった方が一番いいのかと思っています。

城間教育長 いろんな研究団体もこうやっていて、来週あたり、任意研究団体ではありますが、小学校の理科の皆さんが、文部科学省の調査官をお招きして講話をしていただいたり、授業や教材づくりであったり、指導助言を受けるということで予定しているそうです。いわゆる講師としてお招きする方は、大学教授というのが多いのですが、文部科学省の調査官や視学官は、全国的な課題であったりすると、来てくれたりすることもあるんです。特に沖縄県の学力向上については、文科省も何とかバックアップをしたいということがあるので、教育課題について文科省は積極的に支援をしてくれる場合があります。最近も特別活動のところで調査官が、視学官でしたが来て下さいました。面白い話をしてくれて、小中一貫に関わる金城中校区の先生方をお招きして、つまり学力向上をさせるためには、とにかく風土づくり支持的風土が大変大事だとその方面からお話していました。

饒波委員 要するに、那覇市に文科省から出向して1年ぐらいいるとか、そういうことではなくて。

城間教育長 はい。

城間委員長 他に。

添石委員 私も関わらせていただいたものですから、26番の「成人式の今後の取り組みについて」ということで答弁なさっていますけれども、これも概ね陳情を受けてフォーラムを開催した上で、議員の先生方も含めて、10年間やってきたものを、継続してやっていこうという状況だと捉えてよろしいでしょうか。

城間教育長 この大浜議員もフォーラムには来て下さっていました。公明党の議員さんはほとんど、このフォーラムに参加をして下さいます。そういうところで、那覇市教育委員会の青少年育成課がやる成人式に関する事業を後押ししたいという趣旨で質問をして下さいましたので、応援の内容になっているかと思います。

添石委員 もう1点です。22番の「東京オリンピック・パラリンピック開催の意義、指導者交流を含めた取り組みについて」という質問の意図がどういう背景があるのかなと、答弁を見ても理解できなくて。

佐久川部長 26ページの議員の趣旨は、選手もさることながら指導者の皆さんのバックアップを、資質の向上を努められないかなということでした。青少年スポーツあたりに聞いても指導者の関わりを促進してほしい、育成してほしいというのがございました。次回大会からゴルフ競技が入ってきて、東京の場合もそれが入ってきます。沖縄の一つの目玉としては地元プロの選手もいるということなので、本市出身プロゴルファーの期待、それから現在活躍している柔道の七戸龍選手が期待できるだろうということでお話はしております。それで答弁の再質問で、指導者が中央から来る方々の指導者と交流することによって資質を深めることも必要ではないかなというお話でした。地元の子どもたちに還元できるような育成を図ってほしいというのがご

ざいます。

城間委員長

他に。

喜久里委員

24番の「ユネスコスクール加盟への検討状況と新設「那覇小学校」をモデル校とする可能性について」。ユネスコスクール、加盟ということ自体を教えていただけますでしょうか。

喜瀬部長

ユネスコスクールというのは環境保全等の取り組みをしている学校が、ユネスコスクールというグループで世界的な交流が行われるシステムなんです。議員の方は、沖縄県でもそういうものを含めて、ユネスコスクールに加盟をして活動している学校があってもいいのではないかと。特色ある学校づくりとして、ぜひ参加してもらおうかという提案であります。ユネスコスクールというものが、活動実績がある学校をもって加盟することができるというところで、現在、直接加盟ができる見通しがある学校がないと。特に今回の那覇小学校の特色ある風土という形で提案があったものですから、前島小学校、久茂地小学校では、その分について活動はなかなかできていないところがあって、加盟要件を満たしてないと。学校の中の特色としてそういうのが出てくれば、今後ユネスコスクール加盟を考えることができますということです。ちなみに、加盟要件を満たすとすれば、いま那覇市内には特に挙げられるとしたら古蔵中学校で漫湖水鳥湿地センターがありますけれども、そこでの観察ですとか、可能性がありますが、なかなか現実には難しいということです。

喜久里委員

これは学校独自で申請するのでしょうか。それとも教育委員会を通して加盟申請となるのか。

喜瀬部長

これは基本的には学校の方から加盟申請をしていきます。教育委員会の方もそういう手続きには関わりますけれども、学校側の方で申請する形になります。その報告書、研究報告の作成も必要になります。

饒波委員

国連系のそういう組織、国連からお金は全く出なくて全部持ち出しがあると聞いていますが、ユネスコスクールについても加盟すると、例えば那覇市から全部持ち出しでやるということになるのでしょうか。

城間教育長

おそらくそれと似たものになるかと思います。だから、日本国中でもそんなに数はないはずです。例えば、国際的に取り組みができるというのは、テレビ会議であるとか。例えばカナダの人とこちらでテレビ会議を行ったり、そういうことができるというメリットがあるでしょうけど、確かなものではありませんが。

城間委員長

他に。

饒波委員

35ページの「久茂地小学校と前島小学校の統廃合問題について」ですが、こちら前田議員の方からかなり強い口調で質問があったようで、これは議会で決まっていることですよ、未だにこういう意見があるというのはどういうことでしょうか。

佐久川部長

統廃合問題については、今年の12月で議決されております。今回の場合は、新た

な名称というのが原案ですので、統合新校の設置につきましては、既に決定されていることでもあります。ご質問の内容が昨年来ずっと同じ内容です。こちらの方も経過を説明しながら答弁はしておりますが、大きな誤解をされているのが、統合協議会を昨年の１２月に立ち上げまして、初回はまだ議案提案中で議決する前でした。それで久茂地小の学校側は参加しましたが、ＰＴＡ関係の方と地域の方は欠席、３月に第２回目の会議が開催されましたが、それからは全員出席になりました。その中に自治会の会長さんも入っておりますが、「自治会は誰も参加していない、９０％の人が反対だと言っている」、そういう発言が何回も出てくるんですよ。我々が協議会の中でお話している内容の説明をするのですが。いま決算委員会開催中ですが、昨日の決算委員会でも「自治会は参加していない」という発言があったようです。何度かご説明をしておりますが、一貫して誤解された発言が多くて。９月議会の質問の中でも主張だけで、再答弁をさせない状況で終わっています。

饒波委員 わかりました。

城間委員長 よろしいでしょうか、それでは、報告「那覇市議会９月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」は、報告のとおり了承ということでよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

城間委員長 了承ということです。これをもちまして平成２５年度第１３回教育委員会会議定例会を終了いたします。